

# 群馬のスポーツ人 ⑱

## 9人制バレーボール 全国大会V24の立て役者

# 川合輝男



昭和22年(1947)～



57年全日本総合2連覇、57・58年全日本実業団2連覇と実力をつけ、昭和58年のあかぎ国体で埼玉(東芝深谷)との決勝戦を大勝、悲願の優勝が決まった。

その後群馬銀行の活躍はめざましい。平成8年度までの全国5大会の成績は通算で以下の通りである。

全日本実業団 7回優勝(昭和57～60年、昭和63～平成2年)  
国民体育大会 7回優勝(昭和58、60年、平成2、3、5～7年)  
全日本総合 6回優勝(昭和56、57、60、61年、平成6、7年)  
全日本実業団選抜 2回優勝(昭和62年、平成7年)  
全日本都市対抗 2回優勝(平成6、8年)

このうち、昭和60年、平成6、7年は同一年度に三冠を達成している。

実業団の9人制バレーボールにおいて全国大会で通算24回の優勝—群馬銀行バレーボール部が打ち立てた金字塔は今までどここのチームも達成したことがない快挙である。このバレー部を率いる監督の川合輝男は、昭和22年8月21日勢多郡富士見村生まれ。前橋商業時代はバレーボール部の主将として活躍。高校卒業後、昭和42年4月に群馬銀行に入行し、一銀行員としての生活を送っていた。

昭和51年に行内にバレーボール部が結成され、監督に就任。55年6月、3年後の58年に群馬県で行われる「あかぎ国体」で優勝できるチームづくりを、と当時の頭取からの要請のもと、日本一への挑戦が始まった。

選手の獲得に苦勞し、指導者としての勉強も積みながら56・



V24のうち11回を経験した斎藤(旧姓新沼)奈理子さん

群銀バレー部がえらぶうまいものあの店この店

同志愛 精神です

バレーを通じてたくさんの人と出会いたくさんの財産を築きあげていく精神です

優勝のかけに川合さんの奥さんありだよ

埼玉の東芝深谷と決勝戦  
第1セット 21対14  
第2セット 21対9  
大勝!

昭和五十八年あかぎ国体開催  
群馬銀行は愛知徳島を下していった

きびしい練習で脱落しそうな選手が

はなし合い

そして座せんで精神修行

雑念をとりはらおう

いよいよ埼玉の東芝深谷と決戦だね

悲願の優勝だ

よしよし

やった

厳しい道のりでした